

○地域協議会での意見及び対応（反映）状況（R2年度の取り組み）

協議会開催日	委員属性	委員からの意見	対応（反映）状況
H28.5.20	医師会	医療連携は病診連携だけでなく、病病連携の協力もお願いしたい。	地域の成人先天性心疾患（ACHD）患者を受け入れるために、循環器内科ACHD専門外来を2020年4月から開設した。
H28.5.20	医師会	医療連携は病診連携だけでなく、病病連携も非常に重要になってくるため協力をお願いしたい。	従来「がん、がん類似の悪性疾患」に限定していたが、対象疾患を大幅に拡大し、がん以外の疾患のセカンドオピニオンを2020年4月末から開始した。
R2.8.21	医師会	地域医療連携を強化し、地域の住人の健康維持に貢献してほしい。	患者さんとその家族が、夜間頻尿について相談できる近隣の医療施設を検索できるように医療施設検索データベースである「患者さん向けWebサイト「夜間頻尿.com」」に2020年10月に登録した。
R2.5.15	関係医療機関	タイムリーな情報連携と地域医療の貢献をお願いしたい。	乳幼児健診で異常があり、当院小児科に紹介があっても心雑音・脈不整に関しては専門性の高い小児循環器科に切り替えて診察をしている。しかし、小児循環器科は県内外から患者が受診に来るため、初診の患者の待ち時間が発生する。そこで、近隣6区の保健センターから事前予約がFAXでできるようにし、スムーズな受診体制にした。
R2.5.15	関係医療機関	COVID19で大変だが、引き続き地域医療連携の強化をお願いしたい。	胎児エコーZoom相談を2020年10月から開始した。エコー所見で気になるところがあるが、紹介すべきか悩む場合や、withコロナ時代に患者さんの移動を伴う紹介に慎重になる。そこで、紹介の前に、気軽に「Zoom相談」を活用していただき、紹介判断の材料にせらう。 流れは、①Zoom相談窓口（小児循環内科医師のPHS）へ相談依頼の電話。②当院担当医師と時間調整③Zoom相談の会議室情報をメールで伝える④定刻にZoom相談を実施。
R2.8.21	医師会	地域の住人の健康維持や情報提供に貢献してほしい。	オンラインによる就労相談を開始した。第3水曜の午後1時半から4時半に無料の「就労相談会」を開催し、労働基準法や労務規定に詳しい社会保険労務士に来院してもらい、就労にまつわる様々な相談に対応していた。しかし、コロナ禍となり、社会保険労務士が来院できない状況が発生したため、オンライン環境を整え、オンライン就労相談会ができるようにした。
R2.8.21	医師会	COVID19をはじめ、地域医療の中心として頑張ってもらいたい。	コンテナ診療棟を設置し、特殊発熱外来を開始した。また、特殊発熱外来の病診予約を開始した。名古屋市の要請に応じてコロナ病床設置し、人工呼吸器・ECMO（人工心肺）など重症患者の受け入れ体制を整え応需した。
R3.2.19	学識経験者	高齢化の進行と介護需要の増加を見据えて、医療と介護の一体を考えたり、在宅医療の需要の高まりがある。そこで、それに対する考え方や方針を検討しておく必要がある。	老健施設・特別養護老人ホーム・有料老人ホーム等の施設を対象とした連携会を年1回開催している。R2年度は、「コロナ禍における病院・施設の感染対策について」をテーマに開催した。新型コロナウイルス感染症の数回にわたる再燃を踏まえ、安全安心な連携会の開催となるように、Zoomを利用したオンラインでの運用で開催した。14施設52名の参加があり、意見交換を活発に